

# 潮流発電による 地域の脱炭素化モデル構築事業

## 潮の満ち引きから発電する技術

四方を海に囲まれた日本では、波力や潮流、海流等から得られる海洋エネルギーのポテンシャルが非常に大きく、中でも潮の満ち引きの力を利用した潮流発電に注目が集まっています。潮流発電は、太陽光等と異なり年間を通じて安定した発電が可能であり、欧州では商用規模の実証段階に入っています。

日本でも海峡を中心として多くの適地が存在していることから、環境省では潮流発電事業の商用化に取組み、離島を含む地域の脱炭素化の促進及び温室効果ガス排出削減を目指しています。



潮流は潮の干満によって生じる海水の流れ。そのもととなるのは、月や太陽の引力によって生じる海面の上昇・下降現象（起潮力）によるもの。

## 潮流発電の商用展開に向けて

期間：令和4～7年度

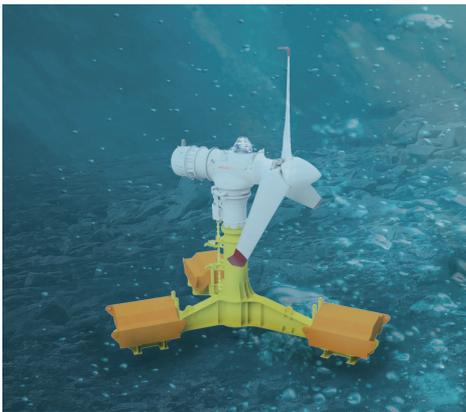
代表 九電みらいエネルギー株式会社



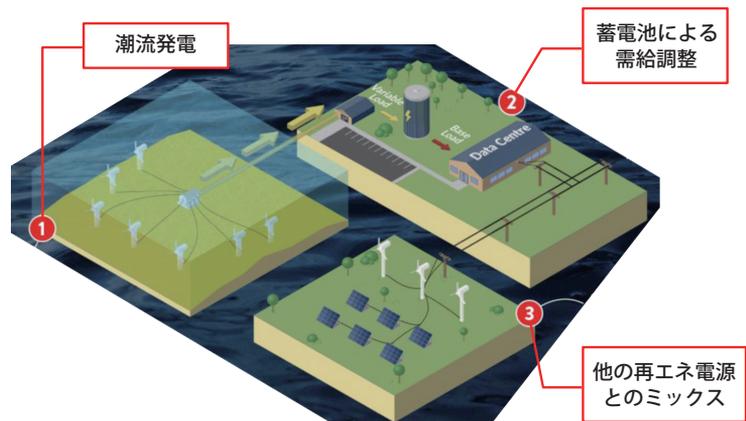
協力事業者

NPO法人  
長崎海洋産業クラスター形成推進協議会

長崎県五島市沖（奈留島と久賀島の間）を対象とした潮流発電実証事業の実施によって、技術の実用化や、商用化に向けたビジネスモデル構築を達成することで、離島を含む地域脱炭素化の促進を目指します。



潮流発電機イメージ図



離島事業モデルイメージ図